

日本聖公会組織成立記念日祈祷

早禱・晩禱または聖餐式に用いる。

早禱序式または晩禱序式の聖語にかえて、司式者は次の聖語を朗読する。

万軍の神よ、願わくは帰りたまえ。天より望み見てこのぶどうの木をかえりみたまえ。なんじが右の手にて植えたまえるものを守り、おのがために強くなしたまえる枝を守りたまえ

なんじはもはや旅とまた宿りびとにあらざ、聖徒とおなじ国びとまた神の家族なり。なんじらは使徒と予言者と基の上にたてあれたるものにして、キリストⅡ
イエス箕づから

平日に聖餐式を行うときは、次の特禱・使徒書・福音書を用いる。

主日およびその他の祝日、大斎始日には当日の特禱の次にこの特禱を用いる。

特禱

全能の神よ、主は福音の光をもってわが国を照らし、我らを召して使徒たちよりの聖公会にありて主に仕えしめたまえり。願わくはこの恵みをますます感謝し、正しく信仰の道を歩むことを得させたまえ。また願わくはすべて御名を唱うる者を導き御子にありて全く一つになる時をすみやかにきたらせたまえ。父と聖霊とともに一体の神にましまして世々限りなく統べ治めたもう主イエスⅡキリストに
ろいてきこしめしたまわんことをこいねがい奉る。アーメン

使徒書

エペ二章一三―二二

福音書

ヨハ一七章一四―二二

聖餐式では祝福の前に、早祷晩等では第三特祷の次に左の祈りを用いる。

とこしえにいます全能の神よ、くすしき摂理をもって、わが国にも聖公会のえだを植え、これを守り育てたもうことを感謝し奉る。願わくはあわれみをもって我らの罪とあやまちと怠りとを赦し、聖徒のひとたび伝えられたる信仰の道を堅くまもり、ますます深く父と御子を知り、聖霊によりて聖なる宮に建て合わせられ、御名の栄光をあらわしかつ御国を広むることを得させたまえ。御子我らの救い主イエス・キリストによりてこいねがい奉る。アーメン